

第5回 冬期道路交通確保対策検討委員会 議事要旨

1 日 時

令和3年2月3日（水） 13:00～15:00

2 場 所

中央合同庁舎3号館 1階道路局A会議室（WEB会議）

3 出席者

委員：天野 真志 (株)中央公論新社 取締役社長室長
石田 東生 筑波大学 名誉教授・特命教授
片田 敏孝 東京大学大学院情報学環 特任教授
佐野 可寸志 長岡技術科学大学大学院 教授

4 議事要旨

議事（1）～（4）について事務局より説明し、委員より、

- ・ 通行止めは「空振りを恐れず」、「躊躇なく実施」すべきである。
- ・ 突発的な事態には躊躇なく対処し、社会で協力し合って被害を最小限にさせることが必要。人命は最重要であり、人命救助には手厚く対応していく必要がある。
- ・ 深刻な大雪時には道路ネットワーク機能が低下することをご理解頂き関係者に行動を切り替えて頂くことが重要。
- ・ 広報の多頻度化の重要性を強調してもらいたい。
- ・ 通行止めになることも想定して在庫を積み増したり、国民が普段よりも多めに食料備蓄等に努めるなど普段の行動についても追記しても良いのではないか。
- ・ 救助、避難のオペレーションの明確化は高く評価できるが、国が責任を持ってアジェンダを示すことや訓練も重要。また、気象予測の高度化も重要である。

などの意見が出された。

以上